令和８年度 十和田市褒賞

公共の福利増進に功労があった方や、広く市民の模範となる方をたたえるものです。



豊川 泰市（とよかわ たいいち）さん
（80歳・切田字豊川）

地方自治の振興発展に貢献

平成３年に十和田市議会議員に当選して以来、令和７年まで９期34年余りの長きにわたり市政の枢機に参画し、地方自治の振興と住民福祉の向上に大きく貢献した。

この間、経済常任委員会委員長、議会選出監査委員、農業委員などを歴任し、優れた指導力と政治手腕を発揮するとともに、平成15年から18年までの併せて３年余り議長として議会運営の円滑化に努め、新市誕生の道筋をつけるとともに、新市誕生後の初代市議会議長として、合併後の議会運営の調整や市政発展に尽力した。



江渡（えと） 恵美（えみ）さん
（70歳・東三番町）

地域福祉の増進に貢献

平成22年に十和田市社会福祉協議会会長に就任して以来、16年の長きにわたり、住民・ボランティア・福祉施設・行政をつなぎ、社会情勢の変化に対応しながら、支援や見守り、相談、ボランティア調整などの事業を行政と連携して推進し、地域福祉の増進に大きく貢献した。

また、歯科医師としての専門性と経験に加え、社会福祉法人「至誠会」の理事長としても各種福祉事業を展開し、地域福祉の向上に寄与した。

令和８年度 十和田市民功労賞

十和田市民または市に縁故の深い個人などで特に社会的な功労が認められた方に贈られます。

（地域防災）



工藤（くどう） トセさん
（85歳・伝法寺字蒼前堂）

平成19年から現在まで、19年余りの長きにわたり、十和田地区婦人防火クラブ連絡協議会会長として会務を統括し、防火・防災活動を力強く主導してきた。

また、役員会運営や会員育成に尽力するとともに、十和田地域広域事務組合消防本部と連携した研修・防災訓練を推進し、地域住民の防火・防災意識の向上に大きく貢献した。

（保健衛生）



高屋（たかや） 茂（しげる）さん
（73歳・西二十三番町）

昭和56年から現在まで市立南小学校の学校歯科医を務め、45年余りの長きにわたり、学校保健活動の推進に尽力した。

この間、歯科検診結果を踏まえ、児童一人一人の口腔（こうくう）状態に応じた指導・受診勧奨を丁寧に行うとともに、検診後も養護教諭や保健主事などへ口腔保健に関する助言を継続し、学校保健および保健衛生の向上に大きく貢献した。

（教育発展）



丸井（まるい） 英子（えいこ）さん
（73歳・東二十二番町）

平成28年に十和田市教育委員会委員、平成29年３月に同委員会委員長、６月には新たな教育長制度における初の教育長に就任し、令和８年６月まで10年余りの長きに渡り教育行政の推進に尽力した。

この間、教員としての豊富な経験と識見をもとに、安全・安心な児童・生徒の教育環境および市民の生涯学習・文化・スポーツ振興の充実に取り組んだ。

（産業経済）



株式会社みちのく ジーンズ十和田工場
（代表取締役　立松（たてまつ） 和弘（かずひろ））

昭和61年の操業開始以降、40年の長きにわたり、誘致企業として、本市の経済発展や雇用の創出に大きく貢献した。

同社は専門性の高い縫製技術力や厳格な品質基準を堅持し、メイド・イン・ジャパンのジーンズ製品の生産を担っている。

令和８年度 十和田市文化に関する表彰

『文化賞』は、文化の向上発展に特に顕著な業績を示し、市の誇りに値すると認められた方に贈られます。

❇文化賞



中野渡（なかのわたり） 武信（たけのぶ）さん
（90歳・西二十三番町）

十和田市文化財保護協会で平成19年から指導的役割を担い、史跡への案内板の設置、寿大学での講師、文化講演会の開催、史跡・遺跡の整備作業など、本市の文化の向上に多大な功績を残した。

また、板ノ沢集落に伝わる「日本廻国（にほんかいこくの）納経供養塔（きょうくようとう）」と付随の納経帳、ならびに「板ノ沢カヤ人形」の文化財としての価値の普及に尽力したほか、同協会で発刊した全３巻の書籍『十和田市の文化財』の責任者として執筆にも参加した。

❇文化功労賞



山岸（やまぎし） 典子（のりこ）さん（雅号 山岸（やまぎし） 翠径（すいけい））
（91歳・西三番町）

いけばな指導者として60年の長きにわたり、会員の指導と育成に努めた。平成26年から令和６年まで県立三本木高校華道部でボランティア講師を務め、部員の華道免許取得へも尽力した。また、現在は地域交流センター「とわふる」で四季を通じたいけばなの展示奉仕を行っている。

『文化功労賞』は、永年にわたり文化の向上発展に貢献し、その功労が特に顕著である方、『文化奨励賞』は、優れた文化の創造および普及活動を続け、市民の文化向上に寄与した方に贈られます。

❇文化功労賞



米田（まいた） 七重（ななえ）さん（雅号 米田（まいた） 宗芳（そうほう））
（85歳・一本木沢二丁目）

十和田市茶道協会の副会長、会計、庶務を歴任し、35年の長きにわたる活動で本市の茶道の発展に貢献した。文化庁が実施する伝統文化親子教室事業で地域の子どもたちの茶道教育に携わるほか、同協会が主催し席主を務めた市民茶会では、お茶の楽しみを市民に伝えた。

❇文化功労賞



角田（かくた） 弘信（ひろのぶ）さん
（75歳・切田字下切田）

昭和45年に南部切田神楽会に入会し、現在は同会会長として神楽の継承や普及に尽力している。笛の奏者として40年にわたり活動するほか、舞や笛、囃子（はやし）の指導者としても活動している。また、昭和50年に一度途絶えた「霞廻（かすみまわ）り※」を平成22年に復活させたことにも大きく貢献した。

※４年に１回、１月に切田八幡神社管内の氏子宅を回る神楽

❇文化奨励賞



十和田やきものクラブ
（会長　漆畑（うるしはた） 英明（ひであき））

昭和51年の設立以来、50年間活動し、現在は週３回の創作活動に取り組んでいる。地域文化の発展のため、寿大学、視覚障がい者、幼稚園などへの作陶指導や、公民館の陶芸教室で講師などのボランティア活動を実施したほか、県内外で開催される作品展での入賞者も輩出している。